

カンザスシティの交通、生活ルール

岡山県立倉敷天城高校 1 年 近藤萌々子

私は、日本とカンザスシティでは交通ルールが全然違うと思い、日米協会の人やホストファミリーに交通ルールについてたくさんのことを教えてもらいました。

①カンザスシティの自動車運転年齢制限（普通自動車）

- ・ 15 歳から 16 歳までは学校や職場まで運転することができる。ただし、未成年だけでは運転することは禁止されているが、成人と一緒に運転することができる。
- ・ 16 歳から 17 歳までは近くの場合なら運転することができる。
- ・ 17 歳からは何も制限なしで運転できる。

（日本では 18 歳から運転可能）

日本と比べると、カンザスシティの方が若いころから運転ができることがわかりました。

②カンザスシティの道路標示

Stop の標識は、下に ALL Way や One Way と書かれたものもあり、意味は日本と同じで一時停止。看板は意外と大きい。



カンザスシティでは日本と比べ制限速度が速い。だが、日本と同じように住宅街や子供の通学路では制限速度は遅く、一時停止の標識が多い。



車いすや障害者用駐車標識は、日本では体調や体の悪い人が使うがカンザスシティではそのような人でなくても、止めることが許されている。



③カンザスシティのベビーシート、シートベルト着用

カンザスシティでは小さい子が車に乗るときはベビーシート必ず着用とされている。

車では前も後ろの座席も必ずシートベルト着用。



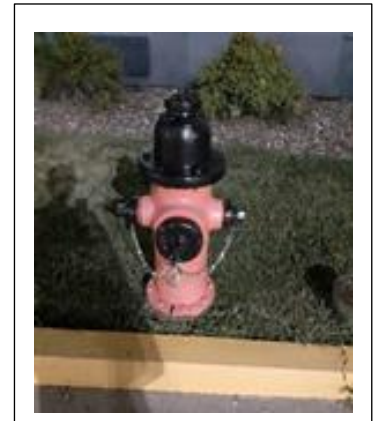
④カンザスシティの自動車駐車状況

カンザスシティの住宅街では自分の家の前の道路に車を置いて良いことになっており、たくさんの車が止まっている。



⑤カンザスシティの水道管

日本は、マンホールがたくさんついているが、カンザスシティでは土偶のような形の水道管が置いている。場所により色が違うものが置いている。



最後に 私の感想

カンザスシティでは、車の交通量が多いわりには渋滞が少なく、過ごしやすかった。日本と似ている交通ルールや全く違うルールもあり、歩いているだけで自分の知らないことがあふれていておもしろかった。これからは日本でカンザスシティの交通ルールを思い出しながら比較したい。